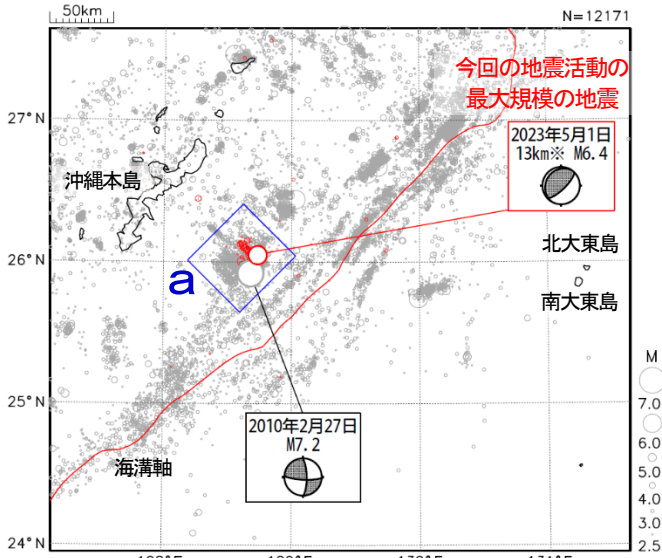


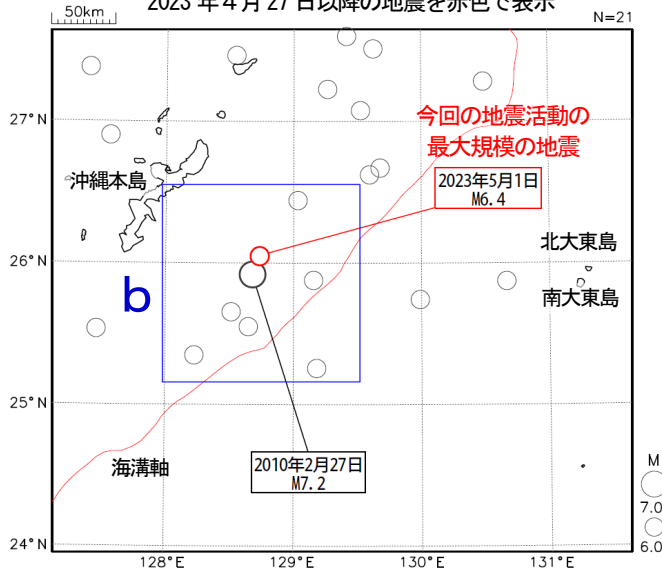
沖縄本島近海の地震活動

震央分布図
(2000年7月1日～2023年5月7日、
深さ0km～90km、 $M \geq 2.5$)
4月27日以降の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による

震央分布図
(1919年1月1日～2023年5月7日、
深さ0km～200km、 $M \geq 6.0$)
2023年4月27日以降の地震を赤色で表示

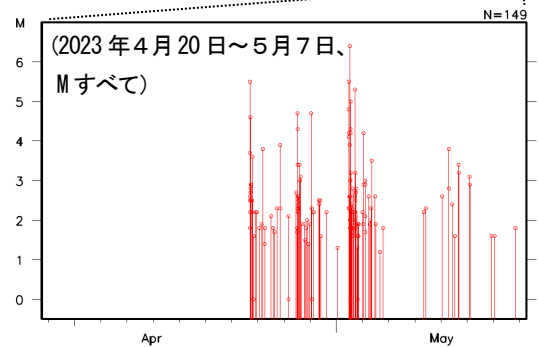
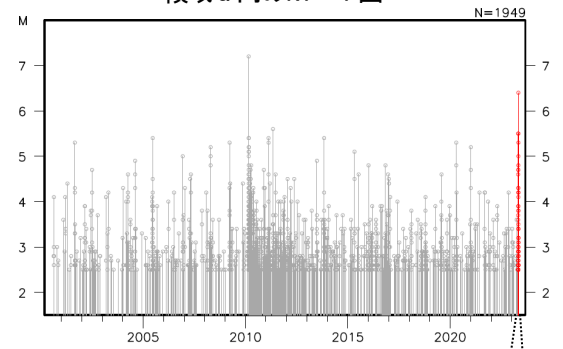


2023年5月1日12時22分に沖縄本島近海の深さ13km（CMT解による）でM6.4の地震（最大震度2）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震央付近（領域a）では、4月27日から地震活動がやや活発になり、4月27日から5月7日までに震度1以上を観測する地震が8回（震度2：3回、震度1：5回）発生した。

2000年7月以降の活動をみると、今回の震央付近（領域a）では、2010年2月27日にM7.2の地震が発生し、軽傷者2人、住家一部損壊4棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。また、この地震により南城市安座真で13cm、南大東島漁港で3cmの津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時折発生している。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図

